

特定建設作業実施届出書

令和 ○年 ○月 ○日

(あて先) 厚木市長

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその
代表者の氏名

届出者

2

3

1

神奈川厚木市○○1-1
○○株式会社
代表取締役 ○○ ○○
046-○○○-○○○○

印

特定建設作業を実施するので、騒音規制法振動規制法 第14条第1項(第2項)の規定により、次のとおり届け出ます。

建設工事の名称	○○ビル解体工事			
建設工事の目的に係る施設又は工作物の種類	5階建て鉄筋コンクリートビル			
特定建設作業の種類	ブレーカーを使用する作業 / ブルドーザーを使用する作業			
特定建設作業に使用される騒音規制法(振動規制法)施行令別表第2に規定する機械の名称、型式及び仕様	油圧式ブレーカー(型式○○) (バックホウに装着して使用。バックホウは低騒音型機械を使用。) ブルドーザー(型式○○)			
特定建設作業の場所	厚木市○○1-1			
特定建設作業の実施の期間	自 平成29年 ○月 ○日 ○日間 至 平成29年 ○月 ○日 (日曜、祝日除く)			
特定建設作業の開始及び終了の時刻	作業開始	作業終了	作業日	実働時間
	自 8時	至 17時	月曜、火曜、土曜	8時間
	自 8時	至 14時	水曜、木曜、金曜	6時間
騒音(振動)の防止の方法	事前に近隣住民へ作業の説明を行う/機械の連続使用を避ける 等			
発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名	神奈川県厚木市○○2-2 氏名○○ ○○ 電話番号046-○○○-○○○○			
届出者の現場責任者の氏名及び連絡場所	神奈川県厚木市○○1-1 ○○株式会社 現場責任者○○ ○○ 電話番号046-○○○-○○○○			
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名	神奈川県厚木市○○3-3 △△株式会社 代表取締役○○ ○○ 電話番号046-○○○-○○○○			
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	神奈川県厚木市○○3-3 △△株式会社 現場責任者○○ ○○ 電話番号046-○○○-○○○○			
※受理年月日				
※審査結果				

- 備考
- この届出書は、騒音規制法(振動規制法)施行令別表第2に掲げる特定建設作業の種類ごとに提出すること。
 - 特定建設作業の種類欄には、騒音規制法(振動規制法)施行令別表第2に掲げる作業の種類を記載すること。
 - 特定建設作業の実施の期間欄には、その期間中作業をしないこととしている日がある場合は、作業をしない日を明示すること。
 - 特定建設作業の開始及び終了の時刻の記載にあたっては、作業の開始時刻及び終了時刻並びに実働時間が同じである日ごとにまとめてさしつかえない。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

4

届出書作成時の注意点

- 1 届出義務者は、施行をしようとする者で元請業者です。
- 2 作業の内容に応じて該当する法律を選択してください。
内容によっては騒音規制法、振動規制法の両方に該当することもあります。
- 3 騒音規制法(振動規制法)第 14 条第 1 項は指定された地域内で特定建設作業を実施しようとする時は、特定建設作業の開始の日の七日前までに「特定建設作業実施届出書」を市町村長に届け出なくてはならないとされています。
ただし、災害や非常事態の発生により特定建設作業を緊急で行う必要がある場合は、同法第 14 条第 2 項の規定に基づき、速やかに「特定建設作業実施届出書」を市町村長に届け出てください。
- 4 備考 1 で「この届出書は、騒音規制法（振動規制法）施行令別表第 2 に掲げる特定建設作業の種類ごとに提出すること」となっていますが、特定建設作業に該当する作業の種類が複数ある場合は、「特定建設作業の種類」の欄に作業の種類をすべて記入することで、まとめて提出できます。
- 5 特定建設作業に使用される騒音規制法（振動規制法）施行令別表第 2 に規定する機械の名称、型式及び仕様を記入してください。対象の機械を複数使用する場合はすべて記入して、**それらの型式や能力が確認できる資料(カタログ等)を添付してください。**
なお、バックホウ、トラクターショベル、ブルドーザーを使用する作業は騒音規制法により特定建設作業に該当しますが、そのうち低騒音型機械に指定されている機械を使用する場合は規制の対象外となっています。
ただし、記入例のようにブレーカーをバックホウに装着して使用するなど、他に届出が必要な作業と一緒に使用される場合には、**低騒音型機械に指定されている機械であっても、その型式や能力が確認できる資料を添付してください。**
- 6 「特定建設作業の実施の期間」の欄には特定建設作業を開始する日と終了する日を記入して、その合計日数も記入してください。またその期間の中で作業をしないこととしている日がある場合は、作業しない日を明示してください。なお、基本的に日曜祝日は作業することができません。
- 7 騒音の防止の方法の内容としては、記入例の他に建設機械に防音装置をつけることや、作業現場に遮音シートによる仮囲いを設置する等が考えられます。
また、工事現場付近から寄せられる騒音、振動に関する苦情の中には事前に工事について説明がなかったなど、近隣への配慮が欠けていたことが原因となっている場合があります。そのため、工事開始前や特に音や振動が発生する作業を行う前など、必要に応じて近隣住民へ説明や挨拶を行ってください。

その他、必要な添付書類

- ①作業現場周辺の状況図
- ②特定建設作業の実施期間を明示した、作業工程表
(他の自治体に提出した様式を使用しても構いません)
- ③使用する機械の仕様がわかるもの、カタログのコピー等
(参考として添付をお願いします)
- ④夜間に道路工事等を行う場合には、警察署の許可書や協議書等の写し